

トビカズラ(飛葛)

科名：マメ科

学名：*Mucuna sempervirens*

別名：アイラトビカズラ

分布：中国大陸、

日本（熊本県、長崎県）



トビカズラはとても変わった雰囲気の花で4月下旬～5月上旬にかけて咲かせるマメ科のツル性木本の植物です。日本では、熊本県菊鹿町の相良という地方に、樹齢1000年といわれているものが自生しており、国の特別天然記念物に指定されています。2000年には長崎県の九十九島でも発見されました。

花は、黒っぽい紫色で房状に数個～数十個咲かせます。また、一つ一つの花が大きく、ユニークな形をしており、龍の爪にも例えられるそうです。かつてはなかなか開花せず、開花すると「世の中に異変が起こる花」として恐れられていたそうで、やや「不吉な花」として地元ではトビカズラにまつわる様々な伝説が残されているそうです。

当植物園では2005年頃に植栽し、2012年頃アーチを作成、開花条件がわかるようになり、毎年たくさんの花をご覧いただけるようになりました。

ジャカラランダ

世界三大花木

科 名：ノウゼンカズラ科

学 名：*jacaranda mimosifolia*

別 名：紫雲木、キリモドキ

原産地：ブラジル南部

性 質：落葉高木 15m



ジャカラランダは、別名「紫雲木（しうんぼく）」といい、阪神間では 6 月頃、青紫色の花を樹冠いっぱいにつけ、鳳凰木（ほうおうぼく）、火焰木（かえんぼく）と並んで世界三大花木の一つです。比較的、寒さにも強く観賞価値も高いため、世界中至る所で街路樹や庭園樹として植えられています。尼崎市内では屋外でも越冬でき、葉は多数の細かい小葉からなる奇数羽状複葉で、ネムノキやシダを思わせ、葉は秋ではなく初春に短期間、落葉します。当園では 2010 年に植栽し、木は大きくなりましたが長年花が咲きませんでした。開花を促進するため 2019 年、2020 年 1 月に 2 度環状剥皮を行い、2020 年 6 月に初めて開花しました。原産地では 10～12 月に開花します。

～熱帯フルーツ～

ジャボチカバ

Myrciaria cauliflora

(フトモモ科)

ジャボチカバはブラジル南部が原産の高さが10mになる常緑小高木です。直径1センチほどの花は幹や太い枝に直接生じる幹生花で、1ヶ所に2～5個つきます。その後、直径2～2.5センチ程度の黒褐紫色の果実がつき、外観も味もブドウの「巨峰」にとっても似ています。当温室では実は年に数回つきます。スーパーでもあまり見かけない、幹に直接実がなり、とてもユニークな熱帯フルーツをぜひ一度ご覧ください。



サガリバナ

Barringtonia racemosa

サガリバナ科 バーリングトニア属

原産地は東南アジア～太平洋諸島。高温、多湿の状態を好みます。湿地林、特にマングローブ林の後方に群生します。夜間に白または淡紅色の花を咲かせ、芳香を放ちます。別名をサワフジといいます。当園では2020年7月初開花。

